

目 次

はじめに

研究担当者一覧

1. 序論	1
1. 1 研究の背景と目的	1
1. 2 日本における土壌・地下水汚染の現状と取り組み	2
1. 2. 1 土壌・地下水汚染の現状	2
1. 2. 2 土壌汚染対策	4
1. 2. 3 地下水汚染対策	4
1. 2. 4 PRTR 制度の制定	5
1. 3 欧米における取り組みの考え方	6
1. 4 本研究の位置づけと研究の進め方	9
2. 対象とする化学物質の選定と絞り込みに関する考え方	11
3. 対象フィールドの選定と化学物質調査	15
3. 1 対象フィールドの選定	15
3. 2 対象フィールドの概要	16
3. 3 対象フィールドにおける化学物質調査	17
4. 対象フィールドにおける地下水流動および物質輸送の計算	21
4. 1 計算モデルの選定	21
4. 2 用いる計算モデルの概要および基本方程式、用いるパラメータの説明	22
4. 3 対象フィールドの諸特性に基づくメッシュ構造および各種パラメータの設定	25
4. 3. 1 対象フィールドの特性	25
4. 3. 2 地形・地質構造の設定	38
4. 3. 3 三次元解析メッシュ図の作成	40
4. 3. 4 水理定数・境界条件等の基本設定	45
4. 4 対象フィールドの地下水流れおよび物質輸送の基本的特徴の把握	47
5. 管理法の検討	55
5. 1 管理の考え方の提案	55
5. 2 土壌・地下水汚染対応マップの試作	57
5. 3 マップの活用法についての考察	70
5. 4 リスクコミュニケーションへのマップの活用	74
5. 4. 1 リスクコミュニケーションの概要と取り組み事例	74

5. 4. 2 河川管理者に求められる役割とそれに対する対応マップの活用法 ……	76
5. 5 今後の展開について ……	78
6. まとめ ……	79
参考文献 ……	81
付録資料	
1. リスクコミュニケーション事例集	
2. シミュレーションモデルによる計算結果の表示方法	